



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次 RID2590ガバナー／露木雄二 横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2012年8月1日 第2066回例会 VOL. 44 No. 5

- 司会 SAA 内田 敏
- 開会点鐘 会長 山崎 良三
- 斉唱 奉仕の理想、君が代
SL 佐藤 真吾

■出席報告

会員数	34名	本日の出席数	26名
本日の出席率	92.86%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

増田、黒瀬

■他クラブ出席者

増田（東京築地RC）、五十嵐（横浜瀬谷RC）、
矢田（横浜鶴峰RC）

■ゲスト

申 錫澈君（米山奨学生）

■8月誕生記念祝い



内田 敏会員 8.9
町居 信哉会員 8.12
矢田 昭一会員 8.13

■会長報告

このところ例会の雰囲気は楽しくなかったと思いますが、今日は楽しくなる事請け合いの事が有りました。それを謹んで報告致します。

吉原会員から赤字の埋め合わせにと100万円の寄付の申し出でが有りました。皆様からも感謝の拍手をお願いします。感謝状の用意は理事会に諮って用意したいと思います。この資金は将来の財政の赤字補填の為に使いたいと思って居ります。今年度は緊縮財政にて運営をしたいと思ひます。

先日の旭ジャズ祭りにガバナー補佐の田中正平氏が、わざわざ脚を運んで下さいました事を報告致します。

○地区関係

1) 地区新世代奉仕委員会からのお知らせ
前年度地区青少年交換派遣学生帰国報告会並びに今年度来日学生歓迎会開催のお知らせ

日時 9月10日(月)午後2時～5時
場所 横浜西口の横浜西公会堂

2) 新世代奉仕委員長会議の開催のお知らせ

日時 8月27日(月)午後2時～5時
場所 メモワールプラザソシア 21
4Fウイングの間

■幹事報告

1) 例会変更のお知らせ

○横浜緑ロータリークラブ

日時 8月15日(水)定款により休会
 日時 8月29日(水)夜間移動例会
 点鐘 午後6時30分
 場所 キリン横浜ビアビレッジ
 ○横浜あざみロータリークラブ
 日時 8月15日(水)定款により休会
 ○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ
 日時 8月14日(火)定款により休会
 ○大和ロータリークラブ
 日時 8月13日(月)取り止め例会
 日時 8月20日(月)移動例会
 点鐘 12時30分
 場所 大和商工会議所3F
 大和市中央1-5-40
 ○横浜南ロータリークラブ
 日時 8月4日(土)振替休会
 日時 8月11日(土)定款により休会
 ○横浜南陵ロータリークラブ
 日時 8月16日(木)定款により休会
 日時 8月23日(木)移動例会
 点鐘 午後7時
 場所 横浜港クルージング
 「ロイヤルウイング」

■親睦委員会

納涼会開催のお知らせ

鶴峰 RC との合同親睦会

日時 8月11日(土)午後6時～

場所 ジュリ (二俣川ライフ4階)

会費 3,500円

■ニコニコBOX(会員敬称略)

山崎 良三／①毎日暑いのでロンドンオリンピックを見ながら暑気払いをしましょう。②本日の五十嵐さんの卓話大きい課題で大変かと思えます。よろしくお願ひします。

佐藤 真吾／①米山奨学生、申君ようこそ。②五十嵐さん、卓話よろしくお願ひします。

福村 正／関口さん、兵藤さん、後藤さん、千葉さん、小嶋さん、川瀬さん、漆原さん、旭ジャズ祭りではお世話になりました。

吉野 寧訓／家内にきれいな花束を頂きましたので。

市川 慎二／急な通夜で楽しみにしていた旭ジャズ祭りに行けませんでした。兵藤先生す

みませんでした。

吉原 則光／いつまで続くかこの暑さ。五十嵐さんの卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

新川 尚／五十嵐さん、卓話宜しくお願ひします。勉強させていただきます。

千葉 和裕／吉原さん、有難うございます。

内田 敏／誕生祝いを頂きありがとうございます。

安藤 公一／ロンドンオリンピックでの日本選手の健闘を祈って。

矢田 昭一／誕生日を祝していただき感謝。

■卓話

会員増強拡大月間によせて 五十嵐 正



クラブ会員数の現状について、クラブ運営に支障をきたす状況に至っている事は、7月の数回のフォーラムでご理解いただけたかと思えます。そこで、今期ほど会員増強委員会の重要性が認識され、期待されている事は、かつてないことのように思えます。

ここ何年か、毎年のように会長方針の際、増強が重点項目に挙げられつつも、現実には増強に至らなかった。

これまでの、友人知人の人脈にたよる方法は、今期も続けて参りますが、それ以外で考えられる方法はすべて取り組むつもりでありますので、皆さんのご協力をお願いします。

さて、今から5年前私の会長時代(会員数45名)、ご記憶の方いらっしゃいますでしょうか。一年間で友人を一人クラブ例会の招待するという企画でした。結果に5名に満たない内容でした。

何故、一年間でたった1人、この最低限の目標が達成されなかったのか。まずは皆さんダブル毎に意見をまとめてみて下さい。

【新川班】危機感がなかった。／平日に昼間に時間のとてる人がいなかった。

【佐藤班】連れてきた時にクラブが気に入ってもらえるか心配。／声を掛けるが、クラブにそのまま入らなければならないのかと思われ、なかなか来ていただけない。／誘うのに適当な方が見つからなかった。

【後藤班】会員増強に対する積極性がなかった。／連れて来れる人が居なかった。

【関口班】真剣さがなかった。危機意識がなかった。／人任せ、誰かがやるだろう。／年齢的に高齢の知人しかいなかった。地域の若者との接点がない。

【斎藤班】欠席が多かったので人を呼べない。／呼ぶような人がいなかった。／あまり危機感がなかった。

【漆原班】ロータリアンとしての気合が足りなかった。／増強を本気でとらえてなかった。／1人に対して熱心に入会をすすめる、例会参加してもらったが、入会には至らなかった。／ロータリーに対する「思い」をより一層強くする必要あり。

ありがとうございました。この答えは今後に生かしていきたいと思います。

ここでひとつのキーワードを提案したいと思います。

『体験例会の日』

これは、ロータリーの友に紹介されておりました、富山県高岡万葉RCの記事で9月と4月の2回実施、15名の参加中5名の入会が実現したとありました。(2006年8月号9頁)

ポイントは「和気あいあいとした楽しい雰囲気づくり」に尽きるそうです。

増強活動で一番苦勞するのは、例会の雰囲気を伝えること、そこで、実際に例会の内容や雰囲気を知ってもらう「体験例会」を企画されたそうです。

会員増強の基本は「ロータリーという活動の楽しさを、一人でも多くの方々に伝えたい」「仲間を増やしたい」の一言と締めくくっております。

そこで皆様に、我がクラブでもこの体験例会の日をご提案したいと思います。

ポイントは、その日は会員お一人一名の友人を例会に招待する。(招待出来なかった方は、ニコニコにて協力をお願いします。)

各委員会は、その日を盛り上げる工夫を最低1つは企画していただき、クラブ全体で体験例会の日を盛り上げて頂いていただく、増強に一人一人が関心を持ち、人任せではなく、一人一人の責任において実施してみたいと思いますが、ご支持いただけますでしょうか。(当日の理事会にて承認、実施日を9月26日と決定)

では次に、トレンド、時代の流れについてふれてみたいと思います。前半の話は営業的発想で、これからの話は、中長期的な増強の事になります。

先週の例会で、会費の値上げの話題が出た際、まずは無駄を精査してからとの意見ができました。執行部にしてみれば、これは無駄だなんて思って予算を使う役員はいないと思います。潤沢な資金の時は問題にならば、予算が限られてくると、何かを我慢しなくてはならない。その判断の基準はどこにあるでしょうか。

それは、ビジョンにつきると考えます。旭RCをどんなクラブにしていくのか。

『理念ービジョンー戦略ー戦術』

100年前にロータリーが誕生した頃、戦後の高度成長の頃、そして、現代。

ロータリーの理念は変わらないとしても、RCに対するニーズに変化があり、その変化に対応した運営が、中長期的な増強の方法になるのではないのでしょうか

ここでRIの会員増強に関する調査報告の概略をご紹介します。

(4頁表参照)

体験例会の日などで、同じようなアンケートをとり、このRIの調査結果とともに、情報集会などで、会費・例会時間・活動・寄付・委員会数等一つ一つ議論していければ、クラブ運営の方向性、ビジョンが見えて来るのではないかと考えます。

■次週の卓話 8/15 休会

週報担当 川瀬恵津子

RI 会員増強詳細報告書

ロータリーに関する調査
アルゼンチン・南アフリカ・オーストラリア
アメリカ・日本の都市の中で、会員減少傾向
にある地域を選び、
対象は専門職務に従事する、30歳以上の女性
専門職務に従事する、30～45歳の男性

調査結果の概要

ロータリーに対する全般的な印象は好ましいものである。一方、その活動内容については、著しい理解不足(ロータリーは、これを少し、あれを少しといった具合に活動していて、何を活動の軸としているのか分からない。)があることが明らかになった。

理解不足

外部広報(広報委員会)
どう答えるべきか、
クラブ内で話合の必要性

ボランティア活動を通じて地域社会にお返しをしたいという気持や関心はあるものの、地域社会に貢献する為に、ロータリーに入会する必要はないと考えている。

社会貢献への関心

個人が、地元や海外で
人道的奉仕活動をする
機会は、これからますます
増えていく。
(例各種NPO)

回答者の多くは、超多忙であり、これ以上多くの時間をボランティアに割くことは出来ないと答えている。

例会時間と出席率

例会時間と出席率

日本では、ボランティアにお金や会費を払うよりも、時間を捧げたり、直接的な活動や参加を好む傾向がみられ、ボランティアのために年会費を払うという概念が否定的に見られる。

また、大きな組織体制に不信や疑念があり、財政やプロジェクトの管理体制など評判が悪い。そこには地元レベルで何かをやり遂げるには小さな団体のほうが効果的とみられる傾向があった。

時間やお金の大義

透明性
重点活動分野

組織にたいしては、見知らぬ人々に囲まれ、行事や会合に参加する事に不安はあるものの、組織は友人をつくる機会を提供している、という考え方が親しみやすく、受け入れられやすいようである。

RIの声明について、一般的で説明に欠け、高尚過ぎるという感想もあり、また、地域のリーダーという部分は排他的で、エリートを指していると解釈される。また、高い倫理基準を推進する、というのは良く聞こえますが、誰の倫理が推進されるのか疑問が生じるとあります。

友情と家族

クラブの行事や奉仕プロジェクトへの
参加協力への機会

第39回旭RC単独ゴルフコンペ報告書

安藤達雄

開催日 平成24年6月12日(火)

場所 大多喜城ゴルフクラブ

今回参加者は13名、今回は米山奨学生のシンソクチョル君が参加して花をそえてくれた。天気予報では昼頃から雨だったが、8:30分のスタート時点で、もうポツポツ、前半は小雨が降ったり止んだり 後半スタート時点で本降りになったので小生は棄権する。

シンソクチョル君は大学時代ゴルフ部に入っていた由、ティショットとパターが上手なのが目立った。今回は初めてだったのでゲストでプレーして貰ったが、ハンデは20位が適当かと思った。

[中スタート～後半は西コース]

氏名	中	西	合計	HC	Net	順	新
安藤 公一	44	44	88	10	78		
山崎 良三	60	71	131	16	115		
綿貫 守一	49	51	100	20	80	7位	
今野 丁三	57	56	113	21	92	BB	
千葉 和裕	42	41	83	7	76	三位	6
内田 敏	52	61	113	24	89		
川瀬恵津子	58	56	114	35	79		
斉藤 善孝	43	40	83	7	76	準優勝	6
佐藤 真吾	48	42	90	21	69	優勝	15
シンソクチョル	52	60	112	G	112		
安藤 達雄	57	棄権					
倉本 宏昭	45	48	93	15	78		
青木 邦弘	55	54	109	20	89		
小嶋 宏樹	57	61	118	20	98		

優勝 佐藤真吾 準優勝 斉藤善孝
三位 千葉和裕 七位 綿貫守一 BB 小嶋宏樹
ベスグロ 千葉和裕
ドラコン 綿貫守一・安藤公一
ニアピン 千葉和裕・安藤公一
青木邦弘 佐藤真吾

会計報告

収入 会費 6,000×13=78,000

支出	景品	49,000
	チップ	4,000
	パーティ	20,800
	フラッグ	1,260
	合計	75,060
	差引	2,940
	前回繰越	1,376
	次期繰越	4,316

以上御報告申し上げます。